

酒四中新聞



酒四中新聞

進もうおおらかに
学ぼううるわしく
励もうたくましく

酒田市立第四中学校
生徒会 新聞委員会
委員長 鈴木 那捺
〒998-0103
山形県酒田市錦町
1-32-1
Tel 0234(31)0911
Fax 0234(31)4372
E-mail sakata4@sakata.ed.jp

五月二十五日から学校が本格的に再開し、感染予防を徹底しながらも活気のある学校生活がスタートしました。休業中に行われた始業式、入学式の様子をお伝えします。

「かけがえない今」 みんなで力を合わせて！

入学式は四月二十日(月)に行われました。感染予防のため在校生は出席せず、間隔をあけて整列するなど、例年とは違う雰囲気でしたが、一年生の参加態度もすばらしく、立派な入学式が行われました。

入学式の前には、新任式、二、三年生の始業式が行われました。

三年生の池田大吾さんは、進級にあたっての自分の目標を述べた後、

「三年生のみなさん、最上級生ということを感じ、先輩の手下となり、思い出に残る中学校生活最後の一年になるように、学年全体で力をあわせて頑張っていきたいと思います。」と呼びかけてくれました。

二年生の伊藤彪流さんは、「新型コロナウイルスの影響で例年とは違った形になってしまいまし

誓いの言葉で佐藤匠朗さんが「中学校では、勉強も部活も忘ることなく、両立できるよう努力すること、素晴らしい伝統を守り継いでいくことができるよう、進んで協力していきます。」と強い決意を堂々と述べました。

各学年の学級開きでは限られた時間の中、担任の先生が熱い思いを語ってくださいました。みんなマスクをつけていますが、目は真剣に先生の方を見つめていました。



五月二十五日から、待ちに待った学校が本格的に再開しました。仲間とともに過ごせる今を大切にして、充実した一年になるように、全校生徒力を合わせて頑張っていきたいと思います。

よろしくお願いします！

今年度から四中にいらっしやった先生方に、①四中(四中生)の印象②四中生へのメッセージを伺いました。



1組4組担任
理科・卓球部
小野寺祐介先生

①自分から挨拶ができる人が多いこと。



1組2組担任
数学・バスケ部
鈴木恵理先生

②四中スタンダードを意識しながら、より良い学校になるように頑張ります。



2組3組担任
体育・陸上部
林賀彩香先生

①挨拶ができて、礼儀正しくて、笑顔が素敵。
②元気で明るい所を、これからの授業や部活動、



西塚裕恭
校長先生

「つながる心・
思いは形に」

新型コロナウイルス感染症防止対策(新しい生活様式)とは長い付き合いになる今年。正しく恐れながらも、「みんなをコロナから守ろう」という願いを共有した活動は継続し

ています。一人ひとりの取り組み意識が大事です。各委員会との協力・協働が活動を後押ししています。

困難な状況だからこそ、みんなで考えを出し合っで、明るく元気になる四中、[We Love 四中]といえる学校を創っていきましょう。



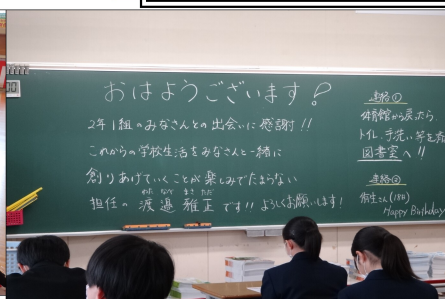
相談員
五十嵐優美子先生

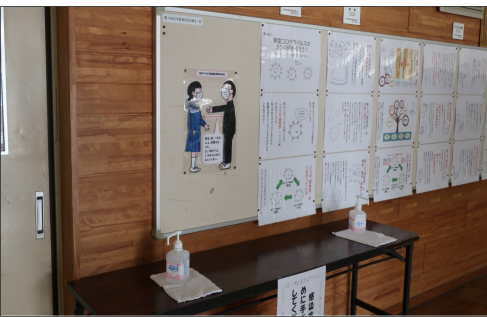
地域の活動に活かしていきたいでしょう。



給食補助員
小野寺和枝さん

①明るく笑顔で挨拶をしてくれる！
②楽しい学校生活を送ってください！





三年生のわくわくをみんなのウクウクに! ☆先生ありがとう☆

一階給食室前ホールの「三年生のわくわく集めました」の掲示物。休業期間中、五十嵐先生と後藤先生、森居先生がみんなに元気を出してもらいたいという願いを込めて作ってくださったものです。

作成メンバーの森居先生は「コロナウイルスでいろいろなことができなくなってしまう、我慢、我慢の自粛期間。できなくなったことを数えて悲しくなるより、これからの未来にたくさん楽しいことを見つけてほしい、希望を持って生活してほしいと思い、私たち自身楽しみながら作りました。明るい色を使ったり、風船を飛ばしたりすること、みんなの思いが笑顔になればという願いを込めて作りました。」

当たり前の日々の大切さを実感

四月からのみんなの思いを聞いてみました。
三年 今井悠太さん
「当たり前のことが当たり前でなくなり、今まで恵まれていたと感じた。これからはどんな状況でも受験勉強を頑張る、日々の生活を大切にしたい。」

二年 菅原麻央さん
「新しいクラスに早く馴染んで、色んなことにチャレンジして、楽しい生活を送りたいと思った。早く普通の生活に戻りたい。」

一年 伊勢海咲さん
「休みの間は家にこもっているだけではなく、運動不足にならないように心がけ、天気の良い日は、橋の向こうまでサイクリングに行くなど、やってみたかったことをした。本格的に授業が始まって、新しいステージへの一歩を踏み出した感じがしてうれしい。」

三年 渡部堅心さん
「休みの間は、勉強する時間が減ってしまい、さらに昼夜逆転の生活になってしまっていて、上手に時間が使えなかった。学校が始まり、友達と会えて嬉しかったし、勉強する習慣も戻すことができたのでよかった。」

一年 渋谷煌斗さん
「学校が始まり、皆と久しぶりに話せて良かった。違う学校の人たちとも友達になれてうれしい。」

二年 本間菜月さん
「規則正しい生活を送ることの難しさ、計画的に勉強する習慣がまだついていないことを実感した。休業が終わり、友達と会えたことがとてもうれしかった。部活動も再開し、より一層気合いを入れて次のステージへの一歩を踏み出した感じがしてうれしい。」



コロナウイルスと上手に付き合う

日常の感染予防について保健の先生に伺いました。

五十嵐友紀先生

残念ながら、新型コロナウイルス感染症が今すぐなくなり以前の生活に戻ることは難しいと言われていきます。コロナウイルスと上手に付き合う、爆発的な流行や重症化を防ぐことが大切になっていきます。

「上手に付き合う」とはどういうことでしょうか? 私が思う「上手に付き合う」とは、最低限予防をしっかりと行うことです。

①体温測定と健康観察。
②丁寧な手洗い。
③場に応じたマスク着用と人との距離。
④免疫力を上げるための運動・食事・睡眠など、基本的習慣。
⑤いろいろな情報を取り入れる時に本当に自分に必要なのか自分の頭で考える。



歩を踏み出した感じがする。」

一年 佐藤陽日さん
「この二ヶ月で学校があることで毎日が楽しいのだというのを感じた。今は勉強や部活動に取り組み、やりがいを感じている。」

三年 佐藤悠万さん
「約二ヶ月間がとても長かった。今は授業や部活ができてうれしい。受験と最後の大会に向けて頑張りたい。」

二年 佐藤 善さん
「ずっと友達に会え

編集後記

学校が休業になり大変な中、委員で協力して第一号を作成しました。元気の出る明るい話題をとりあげていきます。お楽しみに。